

施設見学（広島編③）

第2回の今回は、広島県福山市で今年4月に開所されたばかりの「就労継続支援B型事業所ひらくみらい」様です。

こちらに興味を惹かれた理由は「バックグラウンドを活かした取り組み」にあります。広島県で90年以上続く啓文社という書店が開設しており、事業所の敷地にはかつて啓文社の店舗があったそうです。

余談ですが、現地近辺に住む知人にこちらの事業所という話をすると、「おお、じゃあ、あの商店街の場所じゃろ。昔本屋で行ったで。」と反応があったのが印象的でした。

ひらくみらい様では地域の図書館へ卸すための本にブックコートを貼り付けや、定価より安価に販売されるアウトレットブックに新しいバーコードを貼り付けといった書店ならではの作業を提供しています。また、啓文社では福山市内でカフェを経営しており、広島出身の作家、湊かなえさんと開発した「湊かなえ告白ブレンド」が人気の商品です。ひらくみ

らい様ではその豆をグラインド（挽いて粉状にする工程）して作ったドリップパックを販売しています。

私は、この書店という特徴を活かした商品作りにとっても興味を持ちました。また、販売している珈琲豆も福山市内で「炭火珈房ピトン」を経営するレ・ユニオンコーヒーが焙煎を手掛けているのも地域性を感じます。所縁のある著名人と地域にある資源をかけ合わせた自主生産品は、私たち大泉福祉作業所でも参考に出来るのではないかと思います。

他にも、地域のラジオ番組や情報誌等のメディアにも積極的に出演される等、プロモーションという点では、今回視察した事業所の中で秀でていると感じました。実際に、今回案内してくださった管理者様も、福祉事業を始める前は啓文社の書店で店長を務める等、プロモーションに関わる場面も多かったそうです。ひらくみらい様の開設後も、プロモーションにより新たな縁に繋がる事もこれまで数多くあったというお話が印象に残りました。今回の視察において、私自身も考え方が変わるきっかけとなりました。